

2021.03.21 預言アップデート 悪魔は細部に宿る

ではおはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2種の礼拝を行っていて、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」第二礼拝は、神の御言葉を節ごとに学ぶ「聖書の学び」ハワイ時間11時15分からです。現在、ご存知「テトスへの手紙」2章で、今日の箇所は11節から15節です。11節から15節までの内容をご存知な方のために説明します。11節から15節までの内容は何でしょう？「携拳」です。偶然にも、私のずうっと大好きな話題です。私はずうっとと言ったかな？今回、携拳だけでなく、携拳を待つ間の具体的な話をします。それがハワイ時間11時15分からです。また特に「預言・アップデート」をYoutubeかFacebookでご覧の方に、是非新サイトのjdfarag.orgでご覧になるのをお勧めします。ホームページに入られたら、「ライブ配信」をクリックしてください。すぐライブ配信にアクセスできます。YouTubeやソーシャルメディアから移行する必要がありませんのでそこから見始めていただきたいと思います。事実今日は、YoutubeとFacebookでの「預言・アップデート」イントロダクション"をいつもより早い時間に一旦終了します。その理由はすぐにお分かりいただけると思います。

では本題に入ります。今日はすべきことがたくさんあります。今日のアップデートは、皆さんにご協力をお願いしなければならないことがあります。最後までどうか一緒にご忍耐頂きたいのです。今回のアップデートは、ちょっと重くのしかかる感じのものの1つです。実際に、「ちょっと」ではなく、実際重いのです。皆さんの何人かの方は、私を見てこう思っておられます。「そうじゃない時がある？」と。主が私の心をご存知です。私はこのことを話したくありません。でも話さなければなりません。

皆さん間違いなく、「悪魔は細部に宿る」という有名な言葉を聞いたことがあると思います。今、まさにこの世界的危機が起こっているようです。私がこのように呼ぶのには理由があります。こんにち世界で起こっているあらゆることは、何が起こっているかだけでなく、その速さを見ても、サタンが人類を滅ぼそうと懸命に働いていることが一目瞭然です。これが真実です。サタンは、人間が永遠に天罰を受けるように破壊的な計画を持っています。しかし、神は、人間が永遠に救われるための贖罪の計画を持っておられます。それが今の状況です。皆さんにご理解いただきたいのは、霊的領域、スピリチュアルな領域で、今このようなことが起こっているのです。そしてこのことが、今世界で起きていることがなぜ起きているのかを説明しています。これが原因です。ヨハネの福音書の10章で、イエスはパリサイ派の人たちに、自分がどんな羊の羊飼いで、羊たちが入る門であるかを語っておられます。そしてその羊たちは、(これは重要です。)彼の声を聴くのです。これは非常に興味深いです。羊飼いと羊との関係を本当に理解するならば、羊の耳は羊飼いに合わせています。当時、パリサイ人ではなく、弟子たちがこのことを理解したはずでした。当時は、ある羊飼いの羊がいても、その中に他の人の羊がいることもありました。本当に興味深いのは、その羊の羊飼いがやってくると、羊たちは自分の羊飼いの声を認識するのです。彼の声に合わせてチューニングしています。「あれが私の羊飼いです。」しかし、それに属さないものは、羊飼いの声に気づきませんでした。そして、イエスはこの描写で、自分をその羊飼いに例えておられます。

「わたしの羊たちはわたしの声を聞き分けます。」(しかし逆に)「ほかのところを乗り越えて来る者は、盗人であり強盗です。羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。」「実際彼らは、他の人には決してついて行かず、逃げていきます。」なぜでしょうか。なぜなら、「ほかの人たちの声は分からないからです。」

あれは私の羊飼いでない、と。ここで問題は、パリサイ人はイエスが仰っている事を理解できなかったことです。それで7節からは、さらに踏み込んだ内容になっています。「そこで、再びイエスは言われた。

『まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしは羊たちの門です。』(ヨハネ 10:7)

「わたしの前に来た者たちはみな、盗人であり強盗です。羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。」(ヨハネ 10:8)

そして9節で再度仰います。

「私は門です。だれでも、わたしを通して入るなら救われます。また出たり入ったりして牧草を見つけます。」(ヨハネ 10:9)

「盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。」(ヨハネ 10:10)

「わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。」(ヨハネ 10:11)

(しかし)「牧者でない雇い人は、羊たちが自分のものではないので、狼が来るのを見ると、置き去りにして逃げてしまいます。それで、狼は羊たちを奪ったり散らしたりします。」(ヨハネ 10:12)

それ覚えておいてください。後で戻りますので。

「彼は雇い人で、羊たちのことを心にかけていないからです。」(ヨハネ 10:13)

「わたしは良い牧者です。(イエスは再度仰っています。)わたしはわたしのもの(羊)を知っており、わたしのもの(羊)は、わたしを知っています。」(ヨハネ 10:14)

「ちょうど、父がわたしを知っていおられ、わたしが父を知っているのと同じです。また、わたしは羊たちのために自分のいのちを捨てます。」(ヨハネ 10:15)

「わたしはまた、この囲いに属されないほかの羊たちがいます。それらも、わたしは導かなければなりません。その羊たちは私の声に従います。そして、一つの群れ、一人の牧者となるのです。」

(ヨハネ 10:16)

「わたしが再びいのちを得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してくださいます。」

(ヨハネ 10:17)

「だれも、わたしからいのちを取りません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、再び得る権威があります。わたしはこの命令を、わたしの父から受けたのです。」

(ヨハネ 10:18)

私はラクダに止まったハエになってこの話を聞き、彼らの顔の反応を見てみたかったです。19節に、彼らの反応が記されています。

「これらのことばのために、ユダヤ人たちの間に"再び" (すぐこれを説明します) 分裂が生じた。」

(ヨハネ 10:19)

「彼らのうちの多くの人々が言った。『彼は悪霊につかれておかしくなっている。どうしてあなたがたは、彼の言うことを聞くのか。』」(ヨハネ 10:20)

「ほかの者たちは言った。『これは悪霊につかれた人のことばではない。見えない人の目を開けることを、悪霊ができるというのか。』」(ヨハネ 10:21)

ちょっと待ってください。何ですって?! それは9章のことです。木曜日の夜に私たちはそれについて話しました。大変興味深いです。実にユーモアのある記述です。イエスは、土に唾を吐いてその泥を目に塗ることで見えない人を癒されました。生まれつきの盲目の人をです。事実弟子たちはイエスに尋ね

ました。

「先生。この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか。」(ヨハネ 9:2)

答えはどちらでもありません。

「この人に神のわざが現れるためです。」(ヨハネ 9:3)

彼が盲目なのは、私がこの奇跡を起こして彼を癒すとき、私が栄光を得るために定められた時だからです。それは大変とんでもないことです。これが、大きな話題を呼び、実際パリサイ派の人々は、この問題について調査を開始しました。そして彼らの結論は、「これは神から来た人ではありえない。」なぜでしょうか。「なぜなら、彼は安息日にこれを行ったからである。」このかわいそうな人は、興味深いことに、彼の名前は知らされていません。それは、証人保護のようなものだと思います。なぜなら、このかわいそうな人のことを言っているのです。皆さん、生まれつきの盲目者を想像できますか？ ある日、人類の救世主がやってきます。神の癒し手は、型破りにも唾を吐き、唾液からできた泥を取り、彼の目の上に乗せ、「シロアム（遣わされた者）池に行って目を洗いなさい」と告げます。(ヨハネ 9:7 参照)

これはエルサレムにある貯水槽で、イスラエルと一緒にいった人はご存知ですが、とても興味深い場所です。主な水の供給場所で、イザヤ書第9章で見ました。あ、ごめんなさい。木曜日の学び8章です。私がこれで何を言おうとしているのでしょうか。ご辛抱頂いたら、要点がわかります。何人かの方が、私を見ながら、「要点はあるのですか？」という風ですから。はい要点があります。少しお待ちください。要点をお見せします。このことが、大変な混乱を引き起こしました。これが大きな話題を呼びました。このことは、多くの分裂を引き起こしました。それが何のためだったのかを考えてください。かつては盲目だったが、今は見えるようになった盲人に関してでした。そして、それは羊飼いのことです。良い羊飼いは、その羊が彼の声を知り、認識しているのです。見る者であり、聞く者です。しかしここに問題があります。この敵が、この泥棒が、この狼がやってくると、羊飼いでないこの雇い人が逃げ出して、何が起こるのでしょうか。狼が入ってきて、羊を散らし、分裂させ、さらには食べてしまいます。「第一ペテロ 5章8節」、使徒ペテロが救い主の言葉を再現していますが、敵をオオカミと呼ぶ代わりに "吠えたける獅子"と呼んでいます。これは興味深い詳細です。獅子が獲物に飛びかかって攻撃する準備が整うちょうどその時に、咆哮すると考えられています。ストーカーしながら、待ち伏せをしているので、事前は大変静かなのです。それがペテロの言っていることです。だからこそ、聖霊に導かれたペテロは、このように語るのです。

「身を慎み、目を覚ましていなさい。(なぜでしょうか。) あなたがたの敵である悪魔が、吠えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。」(第一ペテロ 5:8)

ここが要点です。私たちには敵がいます。狼と呼ぶか、獅子と呼ぶか。私たちを滅ぼそうと付け狙う敵がいます。彼は私たちを憎んでいます。なぜなのか？ 私たちは神の似姿で想像されました。敵は神を憎んでいて、神の似姿の私たちを滅ぼしたいからです。そしてあえて言えば、こんにち彼は一定の成功を収めています。では、どのようにしてかという疑問がわいてきます。敵である悪魔は、人類の破滅と永遠の天罰の計画の中で、どのように食い尽くし、破壊しようとするのでしょうか。よろしければ、この難しいテーマに取り組んでみたいと思います。しかし、そのためにこのライブ配信を終了し、まだご覧になっていない方は、jdfarag.org にアクセスなさってください。

一本編一 その答えは、先に述べた「悪魔は細部に宿る」、特に COVID-19/コロナワクチンと "超高速作戦" に相対してあるのではないかと思います。それが、その方法です。サタンはどのようにして人類を滅ぼし、永遠に天罰を与えようとするのでしょうか。その答えは、このワクチンの中身詳細にあります。ここ数週間で、ワクチンについての詳細が明らかになってきましたが、これは私にとって預言的に重要な意味を持つものです。悲しいことに、多くの人が聞く耳を持っていないことを知っているのです、だからこそ、私にはこの警告を発し続ける責務があるのです。しかし、ありがたいことに、耳があって主の声を認識する人たち、つまり、こんにちの教会に聖霊が語っていることに聞く耳を持つ人たちがいます。聞くだけでなく、耳を傾けることができるのは、そういった人たちであり、それが私の願いです。今回は、ワクチンに関する映像の中でも、最も衝撃的で見事な映像と言えるものからご紹介します。多くのオンラインメンバーが、この動画を送っていただきました。その中で、フィリップ・マクミラン博士は、世界的なワクチン専門家ゲルト・バンデン・ボッシュ氏にインタビューしています。このことで息を呑むのは、ボッシュ氏が元ビル&メリнда・ゲイツ財団シニア・プログラム・オフィサーでワクチン開発を担当していたことです。ドイツの CDC に相当する機関の元ワクチン開発室長であり、大学教授です。最近、彼は科学界と世界に向けた警告の公開書簡を発表しました。現在行われている大量のワクチン接種は、一引用します一

「人類の大部分を絶滅させる」

以下いくつか引用します。

「このワクチンは感染を防ぐものではありません。誰かに接種することは、コンピュータに新しいソフトウェアをインストールするようなものです。これらの抗体は、コロナウイルスに遭遇するたびに起動します。(これは因みに、風邪のウイルスのようなものです。)つまり、これを消すことはできないのです。これは非常に深刻で、重要なポイントです。私が話している問題というのは、世界的な問題です。個人の有害事象ではなく、このウイルスの感染力を強めるという世界的な問題なのです。(その理由は、引用します) なぜなら、私たちは、免疫システムから逃れるチャンス、機会を常に残しており、これを作動させることができます。これを、もはやコントロールできないほどの感染力を持つウイルスに仕立て上げるために、基本的に私たちがやっているのが、誰かにワクチンを打つ、ということだからです。(注意してお聞きください。引用します。) 人を、ウイルスを拡散する潜在的な無症候性キャリアにしてしまうのです。ですから、私たちは非常に非常に非常に深刻な問題について、今話しているのです。」

「この時点では、あなたがワクチン賛成派か反対派かは関係ありません。それは科学についてであり、人類についてなのです。人を批判して時間をつぶすのはやめましょう。私はもちろん力説します。つまり、あなたの子どもたちのことであり、あなたの家族のことであり、私の家族のことであり、誰しものことなのです。私にとっては、すべてを賭けています。なぜなら、私が自分が開発したのだから、(そして彼は最後にこう言います) これは単に道徳的な義務です。」

このことが、多くのオンラインメンバーが送って下さった別の動画に繋がります。バーノン・コールマン博士の動画で、その全リンクはこの動画下の PDF ファイルを選択してください。タイトルは「Covid-19/コロナワクチンは大量破壊兵器であり、人類を絶滅させる可能性がある」。

このバーノンコールマン博士の言葉を引用します。

「ビルとメリндаが、次のパンデミックは人々の関心を引くだろうと話しながら、座ってニヤニヤしていた動画を覚えていますか？ まあ、何が起こるかはわかっています。邪悪なエリート、アジェンダ 21、

偉大なる再設定の推進者たちは、世界人口の 90%から 95%を殺そうとしていたことは、誰もが知るところです。残念ながら、ワクチンを接種した多くの人を救うには遅すぎるのではないかと思います。何百万人もの人々が絶望的な状況に置かれており次にコロナウイルスに接触した時には多くの人々が死ぬのではないかと懸念しています。その結果、ワクチンを接種していない人も深刻な危機にさらされていると思われる。そして、いずれはワクチンを接種した人に近づかないようにする必要があるかもしれません。彼らは今、人類の生存にとって非常に危険な存在だと私は信じています。私は非常に長い間、私は COVID-19 ワクチンの危険性について警告してきました。ワクチンの公式の定義は変更されましたが、本当はワクチンと呼ぶべきではないと思います。しかし遺伝子治療と言ってしまうと、私たちが支援しようとしている人たちは、それがワクチンだと言われてきたので、私が話している事が何のことかわからないでしょう。この問題については、ワクチンの専門家として著名なゲルト・ヴァンデン・ボッシュ博士が説明しています。確かに、ボッシュ博士は GAVI やゲイツ財団で働いていたことがあるので、彼の話には当初懐疑的でした。彼は、ワクチン接種反対を表明しうる世界で最後の人物です。ボッシュ博士は、何百万人もの人々にワクチンを投与することで、悲惨なことになっていると指摘し、私たちは、ウイルスがどのように突然変異し、より強く、より致命的になるかを教えているのです。そして、ワクチンを接種した人たちが、変異したウイルスを周りの人たちに共有しているのです。変異はますます強く、致命的になっています。また、別の問題もあります。通常、私たちの体には白血球があり、感染症予防に役立ちます。それは神の免疫システムと呼ばれています。NK 細胞と呼ばれる細胞ですが (NK は何の略かご存知ですか?) (私はこれが大好きです: ナチュラルキラー。) 侵入する悪細胞を撃退します。(引用中)...NK 細胞が仕事をした後、私たちの抗体が現れて掃除をしてくれます。しかし、ボッシュ博士は、COVID-19 ワクチンは、非常に特異な抗体の産生を誘発し、ワクチン接種した人の自然な防御力と競合すると説明しています。ワクチン接種をした人の自然な防御システムが抑制されます。ワクチンによって作られた特異的な抗体が取って変わるからです。」ところで、補足して言わせていただくと、もう何週間も前からこの話をしています。免疫学者、専門家、医師など、その分野で知られている人たちを引用しています。基本的に、この物質は突然変異して複製され、あなたの体のすべての細胞に存在することになると言っています。神から授かった自然な免疫システムである NK が 「これを焼き尽くさなければならない」と言う -- 熱が出るのはそのためです -- 「この家を燃やさなければならない。」そして、燃やし尽くせば熱が下がり、消防署が来ます。これは私が聞いた中で一番良い説明方法ですのでご容赦ください。消防署がやって来て、火を鎮静化します。「もう火はいらない、熱もいらない、燃え尽きたから。だから今は、ホースを使って火を消して、きれいにしましょう。」それが本来の姿なのですが、この問題は、そうなった時にはもう手遅れなのです。全身の細胞に入っているのですから。ゲームオーバーです。私のメモには書かれていませんが、もしかしたら私はこのことに触れるべきなのかもしれません。私たちの娘ノエルは、トリソミー18 と呼ばれる 18 番染色体の 3 番目の複製を体中の全細胞に持っていたために亡くなりました。それが彼女を殺したのです。18 番染色体と 13 番染色体は、医学界では "生命に適合しない" とされています。そして、パーシャル、モザイク、フルの 3 種類があります。3 番目の複製が全細胞にあるのではなく、一部の細胞にのみある場合: パーシャルです。モザイクでさえ、より多くの細胞があれば、生き延びることができるかもしれません。また、トリソミー13、トリソミー18 の子どもたちが成人して生きている例もあります。笑うことも、話すことも、歩くことも何もできませんが生きています。体内の全細胞ではないからです。しかし、娘のノエルは完全なトリソミー18 であると告げられました。彼女は 18 番

染色体の3番目の複製があり、全身の全細胞と全内臓すべてが停止し、それが彼女の死因となりました。それがこの作用です。ちなみに、トリソミー21はダウン症です。それは21番染色体の3番目の複製です。それは致命的なことではありません。この特殊な染色体は致命的ではないので、ダウン症の子どもが多く見られるのです。彼らは大人に成長します。しかしトリソミー18や13なら終わりです。それがこの内容です。全細胞に入り込み、終わります。内臓が停止してそれで死んでしまう、というのが彼の言い分で、それを言っているのは彼だけではありません。これは、多くの専門家が同じことを言っています。引用を続けます。これは重くなると言った通りでしょう。神が私の心をご存知です。昨日、私はただ...(ため息) このことについては話したくないのですが、話さなければなりません。引用続けます。

「ワクチンによって作られた抗体が、そのまま取って変わり、この特定の抗体、つまりワクチンで作られたものが永久に残ります。ワクチン接種した人の体内に永遠に存在するのです。その結果、何千万人、何億人もの人々の自然な免疫システムが破壊されてしまうという悲惨な事態に陥ります。免疫システムは、体内で発生したウイルスの変異に対抗することができません。そして、それらの変異したウイルスが、地域社会に広がっていきます。」

ここで彼が言う事を注意深くお聞きください。引用します。

「多くの人にワクチンを接種した地域で、新しいウイルスのバリエーションが現れているのはそのためだと思います。」お聞きください。

「ボッシュ博士が正しいとすれば、私は彼が正しいと信じますが、人類を脅かすのはワクチン接種した人たちだと私は考えます。ワクチンを接種した人が大きな脅威となるでしょう。しかし、彼らが排出しているウイルスは元のウイルスよりも危険なので、ワクチン接種していない人にとっても大きな脅威となるでしょう。私たちは非常に危険な領域にいます。今、このワクチン接種プログラムを止めなければ人類の未来がかかっているといっても過言ではありません。これが、「偉大なる再設定」を売り込もうとした人たちの頭の中にあっただろうか。ボッシュ博士が間違っていてほしい。私は自分が間違っていてほしい。」この機会に、皆さんに率直な気持ちをお話しするのがいいかもしれません。再度、主は私の心をご存知です。私は間違っていてほしい。もし私が間違っていたら、この説教壇の後ろから自分を謙虚にして、公に許しを請うつもりです。自分が間違っていてほしいのです。実際、第二礼拝で、携挙の話をするときに私は主から、携挙に関する懸念事項を話すよう仰っているのを感じました。そして、それは次のような考えに関係しています。

「JD 牧師、もしあなたが間違えていて、毎週そうだと言って怒鳴り、叫び、唾を飛ばしてきたけれど、携挙があなたが思っているほど間近ではないならどうしますか？」

繰り返しになりますが、もっと詳しく話したいと思いますが、その意味はわかりますよね？ では、娘の結婚式もできるかもしれません。孫を抱くことができるかもしれません。もしかしたら、自分の子どもが成長して大人になるのを見ることができるかもしれません。もちろん、孫を産んでくれることが必須条件です。なぜなら、若い人たちには先の人生があるのですから。私のような年齢層の人間は、「主よ、早く来てください」です。-(笑)- その反応、ありがとうございます。心が温まり、心が励まされます。私が何を言っているのかわかるでしょう？ それについては、第二礼拝でもっとお話しします。つまり、私は自分が間違っていることを願っているのです。彼らが間違っている事を願っています。

コールマン博士のコメントは、多くの人にワクチンが投与された地域で新しいウイルス変異が生じているというボッシュ博士の主張を裏付けるものです。これは木曜日のことです。この記事がフォース

に掲載されました。

「コロナは現在、十数州で急増しており、そのほとんどが高いワクチン接種率を誇っている。」
フォーブスの報道を引用します。

「コロナウイルス感染者が米国の13州で再び急増。その中には、ワクチン接種率の高い州も含まれており、医療専門家は、コロナより伝染性のある変異体が間もなく米国を支配するだろうと警告している。写真は、「"いわゆる"コロナワクチン」と題したスティーブン・ホッツ博士のランブル動画のスクリーンショットです。その中で彼は、この"いわゆるワクチン"は惑わしであり、製薬会社は国民に嘘をついていると簡潔に明確に説明しています。

「まあ!!!頼みますよ。彼らがそんなことするわけない!!!」(します)その後、モデルナの話になりますが、これは2~3週間前に聞いたことがあります。モデルナは、比較的新しい会社であることをご存知でしょうか? 2010年設立です。そして実際に、合成 mRNA を使った遺伝子治療、遺伝子療法を開発するために立ち上げられた会社でした。簡単に説明させていただきますと、これも私にとって理解するのは簡単です。私がこれを理解できるなら、皆さんもこれを理解できると信じてください、いいですか? RNA と DNA の違いは何でしょうか? DNA が話題になりますが、RNA がすべての仕事をしています。言わば、兄弟というか、姉妹というか。兄妹です。つまり、DNA はただ座っているだけですが、RNA に問題を解決するためメッセージを送ります。傷を負うと、DNA が言います。

「RNA! 早く行け! 傷を負って流血しているぞ。出血を止めるんだ!!!」

「感染症を患っている。RNA、そこに入って燃やし、消防署を呼んで消火し、掃除をしろ!」

そして戻ってきたら、「私がすべての賞賛を受けるんだ! 私が DNA で、君は RNA だからね。」これが基本的な違いです。単純化しすぎかもしれませんが、要点はわかっていただけだと思います。では、mRNA とはなんのでしょうか。お~m というのはメッセンジャーです。これは、コード化されたメッセージを持つ合成された人工的な RNA で、ヒトのゲノムに注入されます。それが、RNA・mRNA というものです。このモデルナ社は、一度も病気の治療に役立つ製品を開発できなかったのをご存知ですか? その名前がすべてを物語っています。MODERNA(モデルナ)、modify (部分修正) RNA、m(メッセンジャー)RNA。ちょっとよく考えてみてください。このことについては、「預言・アップデート」で学びました。

「人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。」(マタイ 24:37)

そして、ノアとその家族は、遺伝子に問題がないことが判明したため、助かりました。しかし人間の遺伝子が、サタン自身によって汚されていたので、神は全人類を滅ぼさなければならなかったのです。DNA 的に人間でなくなってしまうたら、贖罪や救済の対象外になってしまいます。なぜなら、イエスは人間を救済するために、完全な人間/完全な神となられたからです。だからこそ.....その、時間がないので.....再度ご辛抱頂いて、私の話をお聞きください。繰り返しになりますが、私はただ...時には私の率直さが人々に不快感を与えることもあるでしょうが、私は決してそういうつもりではありません。皆さんに不快な思いをさせたくはないのですが、どうしてもお伝えしたいことがあり、本当に悪戦苦闘しています。本当に悪戦苦闘です。それは、酷くなるばかりです。正直に言うと、私は本当にこの2つの面で心を痛めています。まず、イスラエルと、イスラエルに起こっていることに心を痛めています。それは、今やユダヤ人への強制的なワクチン接種という大義の下行われています。2つの動画から紹介したいと思います。1つ目は、「ザ・ハイ・ワイヤー」のデル・ビクトリー氏によるものです。イラナ・レイチェル・ダニエルにインタビューした人が録音した音声を SNS に投稿したところ、「イスラエルから世界への叫び」

というタイトルで話題になりました。いくつか引用します。

「ここイスラエルでは、激しい戦いが繰り広げられています。皆さんがどれだけ見ているのかわからないですが、それはひどいものです。とても、とても、とても、とても、恐ろしいです。ここは非常に悪い状況です。この注射を打たないと、16歳の子どもが入学試験を受けられないそうです。彼らはもちろん、人々が仕事のためにそれを接種するよう主張しています。国民の半数がワクチン接種をしないと、映画館やショッピングモールなどに入れないグリーンパスポートを作っているのです。医療のアパルトヘイトを生み出しているのです。彼らは今、ちょうど今朝、誰が接種したかを明らかにできるよう各個人の医療記録を地元の自治体に送るのを許可すると発表しました。そうすれば、誰が注射をしたのか、していないのか分かるのです。旅行から帰ってきた人には、足首にセキュリティ用のブレスレットをつけさせています。絶対に狂っている、それは絶対に狂っている。考えるのをやめたら泣いてしまう。」と言って、彼女は泣いて、動画は終わりました。2つ目の動画は、“私たちは国家の囚人。”助けを求めるイスラエル人女性”と題した動画です。その中で、彼女はこう言っています。

「私は世界に向けて、このイスラエルでワクチン接種していない人たちの生活を伝えたいのです。ある日、私たちは悪夢で目が覚めました。私たちの生活は破壊されてしまった。私たちは、自分たちの政府によって誘拐されたのです。あなたは実際に、自分の国では犯罪者です。私たちは自分の国の囚人です。外に出ることも、入ることも、飛行機にも乗れません。ワクチン接種を拒否すると、子どもは学校に行けなくなります。路上に出ることはできません。警察がいたところにいるからです。ワクチンを接種している人のほとんどは、強制的に接種されたものです。彼らはそれを選んだわけではありません。ワクチンを接種するか、仕事に行けないかのどちらかです。彼らは私たちを分断しています。ワクチンを接種していないと、食べ物を買に行けない店もあります。今はイスラエルですが、明日はあなたの国になるでしょう。サタンに魂を売った多くの医者、ファイザーから資金を得ています。真実を言う医師は、口止めされたり、解雇されたりしています。ワクチン接種していない人に対する暴力のレベルは日に日に高まっています。私たちが敵なのです。私たちが追われているのは、私たちが人権のために立ち上がっているからに他なりません。」

2つ目は身近なもので、個人的にとっても悩んでいる問題です。それは、このワクチンをめぐるキリストの体の分裂と混乱に関係しています。先週の日曜日、ニューヨーク・タイムズ紙は、牧師たちがコロナワクチンへの信仰を説いている様子を報じました。引用します。

「フロリダ州オーランドにある福音主義教会”ザ・ギャザリング・プレイス”の日曜礼拝で、ガブリエル・サルゲロは、コロナワクチンと、ラテン系の信者が強く抱いている恐怖と疑念について説教をしました。彼は、新約聖書「良きサマリア人の例え」に目を向け見知らぬ人を助けることの重要性を説きました。”自分がワクチンを接種することで、あなたは隣人を助けることになる”と彼は、約300人のマスク着用した社会的距離保持する礼拝者に説いた。

”神は、あなたが地域社会のお世話ができるように、あなたが完全であることを望んでいます。ワクチンは神のご計画の一部だと思ってください”サルゲロは、宗教の断面という何千人ものイマーム、ラビ、神父、スワミの聖職者メンバーの一人でコロナワクチン接種を躊躇している人たちを騙そうとしています。聖書と科学を織り交ぜることで、彼らは信徒から託された唯一の信頼を利用し注射に関する神話や（この言葉が本当に嫌いになりました）“偽情報”を払拭しているのです。”多くが（このことについても話し

ましたが)、ワクチン接種会場として、より身近で安心感ある体験ができるよう自分の聖域を提供している。」

私がちゃんと理解してるか確認したいのですが、あなたは教会を閉鎖しました。しかし、今度は人々がワクチンを接種できるよう開放しようとしているのですね。私はここで何を見逃しているのでしょうか？ 何を見逃しているのでしょうか？ さらに悪いことが起きています。胸が張り裂けそうな話です。水曜日、(教会内驚愕) CBN の報道です。実際に動画がありますが ABC--ええ、ABC ニュースです-- CBN から引用させていただきます。

「フランクリン・グラハムは、聖職者にコロナワクチンの支援を促しているとし、”イエスも使っていただろう”と述べている。ここでいくつか引用します。

「アメリカでは、コロナワクチン接種することに不安を感じている人もいます。伝道者フランクリン・グラハム氏は、牧師が信徒にワクチンを信じるよう勧めることを求めています。ビリー・グラハム伝道協会 (BGEA) とサマリタンズ・パースの社長兼 CEO のグラハム氏は、ABC ニュースに語ったところによると、牧師が教会員にワクチン接種させないようにすると有害な結果を招く恐れがあるとのことだ。ABC ニュースのサイトの動画では、フランクリン・グラハムがすでに一回目の接種をしたと言っている。」これはフランクリン・グラハムの言葉で、2つ引用します。

「牧師が誰かにワクチンを打つなと言うのは問題があると思います。キリストの時代にワクチンがあったなら、イエスはそれを参考にして使ったのではないかと思います。」

月曜日に -- 理由があってこれを入れたかったのですが、繰り返しになりますが、聞く耳のある人にはこれが届くと思います。皆さん、この点と点を繋げてください。フォックスニュース :

「バイデンは、”MAGA (トランプ派) の人々”に、コロナワクチンを摂取するように説得するには、トランプよりも”地元の説教師”の方が良いと言及。」

いや、言わないでおきます。でも、これだけは言うておかなければならないかもしれません。トランプがワクチンの作者というのはちょっとおかしくないですか？ トランプは「超高速作戦」の作者であり、継ぎ目なく、ここにジョー・バイデンが出て来て寸分の狂いもないのは。つまり、皆さん、私がこう言うのにうんざりしないでほしいのですが、私は頭の回転は速くありません。しかし全員が仲間なら納得できます。引用します。

「月曜日、バイデン大統領は、コロナワクチンの接種に懐疑的なトランプ派の人々を説得するには、ドナルド・トランプよりも”地元の説教師”やその他地域のリーダーの方が影響力があると主張した。」

うーん、これはちょっと… うーんー お〜ワオ、私は皆さん方を愛しています！ (笑)

だから木曜の夜の旧約聖書の学びは、今、イザヤ書です。すごいでしょ？ 木曜日の夜、節ごとの学びは第 8 章です。この章では、悪の陰謀の預言があります。(喘ぎ!!) 陰謀ですか？ はいそうです。

邪悪な陰謀がありました。理論ではなく、理論の言及はありません。皆さんの語彙からその言葉を削除してください。もちろん、あなたが CIA なら別ですが、なぜなら CIA が「これは陰謀だ」と言う人たちを退けるために作ったのですからね。「ああ、あなたは変人だ！」と。テインハット (ブリキの帽子) はどこですか？ ここにあります。私のはここにあります。近いうちに、効果と小道具用に 1 つ持つてくるつもりです。冗談をお許しください。そうしないと、泣いてしまいます。とにかく泣いてしまうかもしれません。ユダの滅亡を目論むアッシリアの邪悪な陰謀があったわけです。想像するに、当然のことながら、彼らは恐怖に苛まれていました。そこで、神はイザヤにこの悪の陰謀について預言させ、彼らに言い

ました。「恐れることはない。」「あなたがたは心を騒がせてはいけません。」「この民が恐れる者を恐れてはならない。」(イザヤ8:12)

「ああでも神よ、彼らは我々を破壊するために共謀しています。」「わかっています。」「陰謀(謀反)です。」「分かっています。」「でも神様、彼らは我々を滅ぼしたいのです。」「分かっています。私はそれを起こさせない。」「それは起こらない。あなたがたは、恐れる必要はありません。」「ええ、でも彼らが向かって来ます。」「分かっています。彼らは向かって来ます。」

実際、「第一列王記18章と19章」に、その数が記されています。ものすごい数です。アッシリアからの18万5千人の進軍がユダを破壊しようと向かってきます。そして神は仰います。「わたしが彼らを対処します。」「恐れてはならない。おびえてはならない。私がします。"私を見ていなさい"。」

「そう、これはあなたがたを滅ぼそうとする邪悪な陰謀だとわかっています。」

彼らはエルサレムの城壁を囲んでいました。神はダビデへ仰った御言葉通り、アッシリアはこの王を退けようとしていたので、もし彼らが成功すれば、ダビデの家系から救い主が来られなかったでしょう。問題は、神はすでにダビデに、ダビデの血統から世界の救い主が生まれると御言葉を与えておられました。では、もし彼らがユダを滅ぼしたら、神はそれをお許しになられますか？ この185,000の数字を整理してみましょう。どうかご辛抱ください。私たちはこれについて木曜日の夜に話しました。カネオヘが約4万人として、カイルアがさらに4万人とすると、8万人しかいません。まだ10万5千人ほど足りません。基本的に、185,000にするためには、ウインドワード側か、ノースショアを起動することではないでしょうか？ ただ、それを踏まえた上での話です。185,000？ そして彼らがエルサレムを包囲しています。だから神はこんな感じです。

「よし、私が望むところに彼らを連れてきたぞ。」私たちには名前も知らされず、大天使ですらない、ただの無名の天使がいます。神はまるで「ああ、君は見習いなのか？ここに来なさい。」「降りて行って、彼らを殺しなさい。」

第二列王記19章に語られているのは、彼らが朝起きて見ると、「ほ~185,000人のアッシリア人が死んでいる。大量の死体が、ただ殺されている。」あなたの邪悪な陰謀はここまでです。イザヤ書8章12~13節、これが今日の私たちのための言葉です。これが、御霊がこんにちの教会に仰っていることです。

「耳のある者は、聖霊がこんにちの教会に言うことを聞きなさい。恐れてはいけません。」

「ああ、でも私たちが殺して滅ぼそうとしているんだ。」「わかっています。そうはさせません。」

「ああ、私が知っている人が、新生したクリスチャンが、彼はすでに一回目の接種をしたのです。」

「彼らは天国に行きます。」「新生しているなら、新生しなくなることはありません。」

ここでは、主の御言葉と、御霊がこんにちの教会に言われるであろうことが書かれています。

「あなたがたは、この民が謀反(陰謀)と呼ぶことを何一つ謀反(陰謀)と呼ぶな。この民が恐れるものを恐れてはならない。おびえてはならない。」(イザヤ8:12)

「万軍の主、主を聖なる者とせよ。主こそ、あなたがたの恐れ。主こそ、あなたがたのおののき。」(イザヤ8:13)

これが私の心を落ち着かせてくれたのです。つまり、あなたたちは好きなように陰謀を企てることのできるのです。あなたが私を滅ぼすために何人のアッシリア人を送り込んでも構いません。神はそれを許さない。私は神を畏れ、ついでにあなたのためにも神を畏れます。先日、このことについて考えていたのですが、共有しましたね。神が最終決定権を持っておられますよね。章や節は忘れてしまいましたが、

基本的に次のような「箴言」があります。

「神は実際に、邪悪な者、つまり計画や陰謀を企てている者に、災いの日を用意されている。」

「マタイの福音書第 10 章」、イエスが弟子たちを送り出し、準備のために指示と警告の両方を与えておられます。

「わたしが暗闇で、あなたがたに言うことを明るみで言いなさい。屋上から恐れずに言い広めなさい。」と指示しておられます。しかしここで重要なのは、彼らがこのことを言い広めることで起こる反対や迫害を恐れるのを知っておられるということです。ですから彼は、弟子たちに恐れないう仰います。イザヤがそう言って預言したように、イエスも「恐れるな」と仰っています。[マタイの福音書 10 章 28 節](#)です。

「からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだもゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。」

彼が恐れる唯一のお方です。

「主を恐れることは知恵の初め」(箴言 9 : 10)

「主を恐れることは悪を憎むこと。」(箴言 8 : 13)

「ルカの福音書 12 章 4～5 節」

「わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、その後はもう何もできない者たちを恐れてはいけません。」

「恐れなければならない方を、あなたがたに教えてあげましょう。殺した後で、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたがたに言います。この方を恐れなさい。」

主を恐れなさい。このことが、私たちがどう始めたのかということに全部繋がります。はい。悪魔は細部に宿ります。確かに、悪魔は人類を滅ぼすために邪悪な陰謀を企てています。しかし、神は。神が最初に細部に宿っておられます。ところでネタバレですが、悪魔が今、細部に宿っているのはその理由からです。それを説明します。実は今、この件に関して送られてきた情報をさらに調べて吟味しているところです。そして、それは YHWH (ヤハウエ)、テトラグラマトン (4 文字のシンボル)、YHWH に関係しています。神の御名前は、文字通り私たち人間の DNA、YHWH (ヤハウエ) の DNA です。ご想像のとおり、これは非常に大きな意味を持ち、私たちが見ているものが、なぜ世界で起こっているのか、非常に必要な説明を提供します。サタンは、人間の DNA を改変して人類を滅ぼそうとしています。しかし、神は。悪魔が人間の永遠の天罰を求めているのに対し、神は人間の永遠の救いを求めておられます。それが今回の全てです。一文だけでも、説明だけでも、と言っても、時計は見ないでくださいね。非常に長いアップデートですが、あと 2、3 分いただければ、もう少し長くなります。それが表示説明内容です。そう、悪魔が、これは、そういう場所の一つでもあります。こういう言い方を許していただきたいのですが、"BUT/しかし"を適切な場所に置く必要があります。私が望んでいたようにはなってませんが、お聞きください。そのことについて、皆さんに説明しなければならないことがあります。わかりました、よろしければそうします。こういう風に言う事ができます。

「神は、人の永遠の救いを求めておられるのは分かります。"しかし"悪魔は人の永遠の天罰を求めています。」いえいえ、違います。"しかし"を間違った位置に置いています。皆さん、"しかし"を以下の位置に置く必要があります。

「ええ、悪魔は人間の永遠の天罰を求めています。"しかし"：これが正しい位置です。"しかし"神は、人

間の永遠の救いを求めておられます。」

ですから私たちは、これらの「預言・アップデート」をしているのです。それが、イエス・キリストの福音とシンプルな救いのABCを行う理由です。

福音とは「第1コリント15章1-4節」にあり、使徒パウロがこう宣べています。イエスが来られ、十字架にかけられ、葬られ、3日目によみがえられた。そしてパウロが、テサロニケ人への手紙で宣べる福音は、イエスが来られ、十字架にかけられ、葬られ、3日目によみがえられた。そして、彼はいつか戻って来られます。それが携挙です。それが携挙で、良い知らせです。「救いのABC」は、子どもにでもわかる簡単な救いの説明です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。私は罪を犯した、私は罪びとで、救い主が必要だ、と気づくところにまず来ることです。ローマ人への手紙3章10節にこう書かれています。

「正しい者はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙3章23節がその理由を教えています。

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」

ローマ人への手紙6章23節、私が大好きなのは、先に悪い知らせ、後で良い知らせがセットになっていることです。悪い知らせとは何でしょうか。あなたがたは、死刑宣告を受けています。

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

アダムを通して罪がこの世に入ってきたとき、死がこの世に入りました。ですから、2番目の、最後のアダム(イエス)、それが良い知らせなのです。

「罪の報酬は死です。”しかし”、(私はこの正位置にあるのが好きです。) 神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23)

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙10章9-10節、

「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

それはかなり決定的です。ヨハネが書いたことを考えます。

「永遠のいのちを持っていることを、あなたがたに”分からせる”ためです。」(第一ヨハネ 5:13)

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙10章9-10節、

「口でイエスは主であると公に言い表わし (confess)、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙10章13節です。おそらくオンラインでご覧のどなたかのためです。あなたに、これが決定打であることを知ってほしいのです。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」(ローマ 10:13)

救われるかもしれない、救われうる、救われるべき、ではなく、「救われる」のです。私は切に願います。もしあなたが、今まで主の御名を呼び求めたことがないなら、今日が救いの日です。永遠のいのちという、人生で最も大切な決断を先延ばしにしないでください。もう3分いただけますか？ いやとは言えませんよね。(笑) すみません。もう終わります。これは待った甲斐がありそうです。とても力強い

証です。オンラインメンバー、リサ・クラプラットさんからです。お名前を正しく発音していると願います「私たちは数ヶ月前からあなたの説教を聞いており、同じ見解を持っています。聖書に関するあらゆることについて話す親しい友人を含め、他の信者と共有しないことは難しいです。私は、救われた人と議論するのではなく、救われていない人に手を差し伸べるのに焦点を当てるべきだと賛同します。救われていない若い仲間とオンラインでチャットをしていたのですが、彼はかなりのトラウマを抱えていました。私は彼に、聖句と救いの ABC を共有しました。彼は、キリスト教に対する嫌悪感（傷）を多少なりともオープンにしています。1 週間ほど連絡を取っていませんでしたが、神が彼を私の心に置いてくださいました。私は彼にいくつかの聖句を伝え、彼はそれに応えました。彼は、あの日、橋から飛び降りて命を絶とうと思っていたことを話してくれました。」繰り返しますが、オンラインでご覧の方かもしれません。もしそんな考えがあるなら、やめてください。その考えを捕らえ捕まえるのです。それは神からのものではありません。神はあなたを愛しておられます。神はあなたにご計画があらわれます。あなたには希望があるのです。「彼は橋から飛び降りて命を絶とうとしていました。彼は飛び降りようとしていて、そして、何が彼を止めたのかは分かりません。しかし、彼はその日のうちにバスに乗って街中を回りました。あるバスシェルターで、小さな透明な袋が貼られているのを見て、それを手に取ったそうです（写真はこちら）。麻薬を入れるための袋みたいだったそうです。帰宅した彼は、私がメールをした直後にそれを開封しました。そして、その袋の中から見つけたのは、救いの ABC と書かれた折り紙だったのです。彼は言葉を見失ったと言いました。私は彼に、それは間違いなく神様からだと言いました。あの日、彼に起こった出来事は、乗ったバスといい何もかもが普通ではありませんでした。神に導かれ、救いの ABC を書き、薬と同じ袋に入れた方に、ぜひお会いしたいです。」私たちは、どなたがこれをされたのかを知りたいのです。あなたが誰であっても凄いです。そのおかげで、誰かが救われたのです。そこで彼女は頼んでおられます。「もし、カナダのマニトバ州から連絡してきた人がいたら、その人とつながれるようになりたいです。」該当される方、彼女と繋がるために、私たちにメールをくださいませか？ そして本当にありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。あなたが誰であろうと、ワオ〜！ 一拍手喝采 最後のは、大変可愛らしいです。

「こんにちは、JD 牧師、カナダの大草原から祝福を送ります。（今日はカナダの日に違いありません。）友人があなたの動画を転送してくれたのをきっかけに約 1 年前からあなたの預言アップデートを見ています。正直に言うと、最初思ったのは、"このハワイアン・シャツを着た人は誰？""彼のおかしな理論は何だ？"と。その時、私の美しい妻と家族は、"これは世界の終わりだ！"と考えました。そして私はずっと考えていました。"2009 年のようなただの風邪だ、大げさだ"と。しかし動画を聴いてみると、神が私を揺さぶって "目覚めよ！"と仰っているようでした。そのメッセージの中であなたが話していたことは、その前の週に私が考えていたことでした。神だけが御出来になる事です！！ その日以来、私は毎週見ている、最終的に家族全員が見るようになり、毎週日曜日を待つようになりました。私たち夫婦には 4 人の子どもがいて、3 人が一緒に住んでいます、私たちがメッセージを聞くとき、彼らが注意して聞いているとは思っていませんでした。でもそのうちに、遊んでいるときや友達と話しているときに、色々なことを言ったり話したりするようになりました。彼らは、「患難前携拳」で人々が「突然姿を消した」というレゴ動画を作成しました。先日、私が食器を洗っているときに、（これは夫が皿を洗っています。男性の皆さん？）一拍手

このことはここで置いておきます。家内は第一礼拝に来ていないので、良かったです。ええ、わたしは大

丈夫。ですから彼はお皿を洗っていました。「娘の一人が寝室から私を呼ぶ声が聞こえてきました。 ”パパ、説教ってどういう綴り？”それから、“預言の綴りは？”と聞いてきました。その時、私は “やれやれ、娘は何を誰宛に書いているのだろうか？”と思いました。その後、彼女は手紙と封筒を持ってきて、“これをJD 牧師に送って～”と言ってきました。その時私は、子どもたちがあまり注意を払っていないと思われる時でも、神は私の子どもたちに語りかけておられるのだと気づきました。私と妻は、聖書預言についてより強く理解していますし子どもたちも携挙とは何かを知っていて、私たちと一緒に主の来臨を楽しみにしています。その手紙をこのメールに添付しましたので、お読みください。携挙の日までに届くよう、メールで送ろうと思いました。JD 牧師、奥さんと子どもたち、そして教会の皆さん、メッセージをオンラインにするために皆さんがしてくれていることに感謝します。ですから文字通り、世界中の人々が主の救いの恵みを知ることができるのです。神の祝福がありますように。マラナタ。」

娘さんの手紙を読みたいと思います。

「親愛なる JD 牧師へ。こんにちは。私の名前はハーモニーです。私はあなたの説教と預言が大好きです。人の手紙やメール、テキストをあなたが読んでいるのも好きです。お友達の DJ があなたの JD にとっても似ているのに気付きましたか？ 誕生日プレゼントに ABC カードを入れてもいいかなと思いました。バイバイ～愛をこめてハーモニー（8歳）より。」

お～なんと素晴らしいのでしょうか。－拍手喝采－

賛美チームは上がってきてください。まだ時計を見てはいけません。今は特に見ないでください。ご起立ください。今日のアップデートで、時間の関係上、これでもカット部分がたくさんあったとしたらどうでしょう？ 1時間以内に収めるようにしなければならなかったんです。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。

はい主よ、重くて苦しいです。しかし、主よ、あなたは忠実なお方です。

あなたは信頼できるお方です。あなたは私たちが恐れるお方、あなたへの敬虔な恐れです。主よ。

私たちは、人間が私たちにすることを恐れません。

主よ、私たちは世界で起こっている全てを目にし、日を追うごとに、ますます邪悪になっていくのがわかります。

しかし、日を追うごとに悪が増え、日を追うごとにあのラッパにどんどん近づいていることもわかっています。

そして主よ、私たちは心の底からあなたが戸口に来ておられることを信じています。あのラッパの響きと共に、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、引き上げられ、携挙され、空中であなたと会うのです。（第一テサロニケ 4：16-17 参照）

主よ、一度もあなたを呼びもとめたことのない人たちがあなたを信じ、罪の赦しのためにあなたに信頼を置くことを祈ります。彼らが今日、永遠の運命を封印し、今日、今、救われるように祈ります。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7

